

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

【ご家庭から】

フードバンクちばでは、家庭で余っている食品（保存可能な物）を募集しています。

寄付いただきたい食品

- 穀類（お米、麺類、小麦等）
- 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- 乾物（のり・豆など）
- インスタント食品・レトルト食品
- 調味料各種、食用油
- ギフトパック（お歳暮・お中元等）
- 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）

【企業等から】

包材の破損や賞味期限間近などにより、廃棄する予定の食品（賞味期限1カ月以上）などがございましたら、ぜひご寄贈ください。条件等は別途ご相談させていただきます。



個人支援に利用させていただいている食品の一例

ご寄付のお願い

フードバンクちばでは、みなさまのご寄付や協賛金を受け付けております。活動をご理解いただき、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。ご協力には下記郵便振替口座をご利用下さい。

● 郵便振替口座

口座名義：**フードバンクちば** 口座番号：**00150-2-652117**

● ゆうちょ以外からの振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 種別：当座 支店名：〇一九店 口座番号：652117 口座名義：フードバンクちば

お問い合わせ

ボランティア活動に参加してみたいという方を随時募集しています。またフードバンク活動についての詳細などお気軽にお問い合わせください。

☎ **043-375-6804** 平日 10:00~17:00 ☎ **043-242-8900**

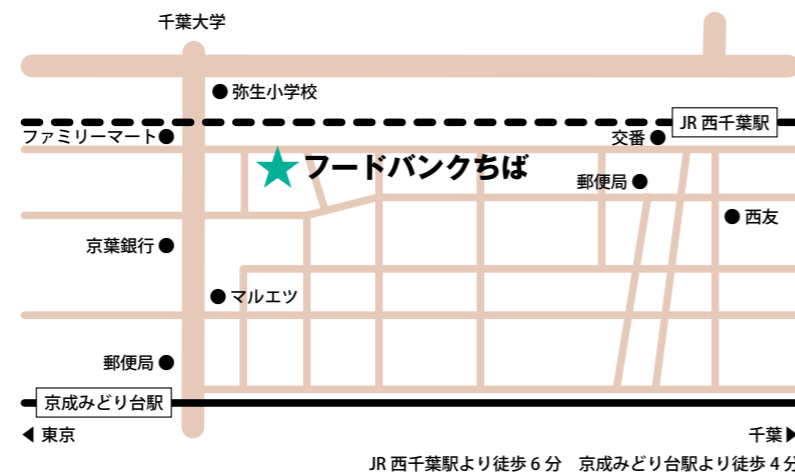
※スタッフ不在の場合は、留守番電話にお名前とご連絡先電話番号をお話してください。折り返しこちらからご連絡いたします。

✉ **fbchiba@jigyoudan.com**

💻 **http://foodbank-chiba.com** ブログ：**fbchiba.ko-me.com**



チャリティ用の缶バッジを作りました。イベントなどで必要な場合はご相談ください。



フードバンクちば ワークスコープちば 企業組合労働協働事業団 サポートセンターオアシス内
〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101

フードバンクちば通信

フードバンクちば（企業組合労働協働事業団：サポートセンター「オアシス」内）〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11 コーポ立花101

食品寄贈の呼びかけにみるみる多くの食品が寄せられました!

ガラガラだった倉庫の棚が皆様のご協力のおかげでたくさんの食品で埋まりつつある様子です。本当にありがとうございました。しかしながら、実際は右から左へ出て行くのが現状です。引き続きご支援よろしくお願いたします。

Vol.09
2014年
8月1日発行

CONTENTS

- ① 第7回フードドライブにご協力ありがとうございました!
- ② フードバンクちばの支援状況をお知らせします。
- ③ 企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切に使用させていただきます。
- ④ フードバンクちば2周年イベントを行いました。
- ⑤ 各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

余ってませんか。もったいない食品大募集中!!

現在までの支援状況

2014年4月～2014年7月までに提供した食品

<団体> 約2.1トン

<個人> 約3.4トン

内訳：お米・調味料・パスタ・そうめん・ツナ缶・ジャム・菓子・飲料など

第7回フードドライブにご協力ありがとうございました!

フードバンクちばへ直接食品を送ってくださる方、寄付をしてくださる方が増え、支援の広がりを肌で感じています。

5月12日(月)～6月30日(月)の日程で行った第7回フードドライブが無事終了しました。今回から四街道市、鴨川市、富津市の社会福祉協議会、柏市地域生活支援センターあいネット、中核地域生活支援センター長生ひなたなどで新たに食品の受け取り窓口を開いていただき、全部で窓口が50か所ほどになりました。

スタート当日の5月12日にNHKのローカルニュースで放映していただいたことや、受け取り窓口が増えた分食品も増加し、2.3トンの寄贈量でした(前回は1.7トン)。フードドライブに取り組んでいただいた各市社会福祉協議会や中核地域生活支援センター、その他の団体の皆さま、そして食品を提供して下さった皆さまに感謝申し上げます。

なお、次回以降のフードドライブの日程は以下の通りです。

各団体におかれましては、ぜひフードドライブを年間計画に位置付けていただけますよう、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

次回第8回フードドライブ 2014年9月16日(火)～10月31日(金)

第9回フードドライブ 2015年1月13日(火)～2月27日(金)

第10回フードドライブ 2015年5月18日(月)～6月30日(火)



各窓口で回収した食品をフードバンクちばへ運びます。

フードバンクちばの支援状況をお知らせします。

3月末に急増した困窮する個人の方への支援は、新年度に入っても勢いが衰えず、毎月90件以上の申請があります。5月は99件、7月は104件の申請があり、1日当たり5件以上の申請がある状況で、フードバンクのスタッフだけでは手が足りず、ボランティアの方を募集して、作業をお願いしています。

フードバンクちばでは、現在約20市町の社会福祉協議会、同じく約20市町の社会福祉関連部署、その他、中核地域生活支援センター、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所、福祉施設等、全部で100ヶ所ほどの相談・支援窓口と連携して、食べるものに困った方々への食品支援を行っています。フードバンクちばの認知度が高まるにつれ、利用はさらに増えることが見込まれており、食品の寄贈、運営資金の寄付、ボランティア等労力の提供など、仕組みを整え、拡大していかなければなりません。



個人支援の月当たり利用件数 (2012年6月～2014年3月のべ911件 1415人)

2015年(平成27年)4月からは、生活困窮者自立支援法が施行され、全国すべての市で困窮者の相談事業が始まります。これまで表面化していなかった困窮者の支援が拡充する一方、公的な制度だけでは足りない部分を補う役割としてのフードバンクに期待が集まっています。

千葉県内での地域の支えあいとしてのフードバンクづくりに、皆様のご協力をお願いいたします。

中核地域生活支援センターより (7月)
要介護度5で寝たきりの夫とその妻、長男。年金(6万円/月)と長男の給与で暮らしてきたが、長男の勤める会社の倒産に伴い世帯収入が年金だけになった。さらに長男の彼女が実家で暴力を受け避難してきたため、生活費が賸えなくなってしまった。

70代男性
60代女性
30代男性
20代女性

市相談センターより (7月)
生活に困り5月に1度利用した。その甲斐あってか元気を取り戻してアルバイトを開始できたが、給料が入るのが、月半ばであり、再度食料に窮している。

50代男性

社会福祉協議会より (6月)
夫婦とも現在無職。夫は病気で入退院を繰り返し、妻は求職活動中。娘のアルバイト収入で家計を支えているが、妻の仕事が決定するまでの間利用したい。

70代男性
50代女性
20代女性
10代2人

市役所より (7月)
生活保護申請中の外国籍の父子家庭。生活保護の受給までまだ2週間以上あるため、支援してほしい。宗教上の理由から豚肉及び豚製品が食べられない。

40代男性
10代2人
10代未満2人

市相談センターより (7月)
SNSで知り合った友人宅に身を寄せたが所持金がほとんどない。本人は、就労自立したいという意思があり、ハローワークと連携して就職活動するもいまだ決まらず。友人宅も長くは居られず、近日常に出なければならぬ。

20代女性

社会福祉協議会より (7月)
生活保護受給中。当月より就労が決まり、研修があったので東京まで通っていた。研修中と就労開始後の交通費を最初の給料までの間負担すると、保護費だけでは足りなくなってしまった。次回の保護費支給(8月)までの食料があれば何とかしのげる。

30代女性
10代3人

企業からもたくさんのご寄贈をいただきました。大切に使用させていただきます。

船橋市にあるニック食品株式会社様より、飲料のご寄贈をいただきました。ジンジャーシロップ120本、りんごジュース300本です。

いすみ市商工会様よりお菓子「ブルーベリー黒糖」とレトルトの「たこカレー」をいただきました。

千葉が誇るコンベンションビューロー、幕張メッセ株式会社様より防災備蓄品のカロリーメイト60個入6箱、その後レスキューフーズ「カレーライス」300食をいただきました。

フードバンクちば2周年イベントを行いました。

「フードバンクとこれからの地域協働」—映画『もったいない!』上映会—

6月7日(土)千葉大学人文社会系総合研究棟にて、千葉大学伊丹謙太郎研究室と共同開催しました。悪天候にもかかわらず、学生を含め約50人の参加者がありました。



第一部「フードバンクちば活動報告」では、2013年度フードバンクちばの活動報告を中心に、代表の菊地が報告しました。2年目の今年は、県内で連携する15市の社会福祉協議会、8か所の中核地域生活支援センターなど50か所に食品の受け取り窓口が広がり、1回あたり最大3.8トンの食品が集まるようになりました。特に、お米の寄贈が多く集まり、千葉県の特徴ともいえます。

第二部「映画『もったいない!』上映会」では、ドイツで制作された食品ロスに関する映画を参加者で鑑賞しました。映画では大量生産された野菜が流通や小売りのルールで廃棄されていることや、第三世界の生産者が困窮する中で、先進国では大量に食料が廃棄されていることなど、生産に要した労働力も含め、壮大なムダが発生していることなどが描かれています。参加者からは「自身の食生活について考えさせられる良い機会となりました。」「食料廃棄が、単なるゴミ問題でなく、環境・エネルギー・貧困などの社会問題につながっていることがよく理解できました。」等の感想がありました。



第三部の意見交換・交流会では、会場を移して軽食交流会を行いました。今回のイベントに全面協力していただいた食育の事業を千葉で行っている「カレントオブエヌ」の西垣さんが1ヶ月以上前から準備してきたフードバンク食品を用いた各種のお料理を楽しみました。

各方面のイベントや会議へ参加し、フードバンクの普及に努めています。

「パルシステム千葉 NPO 助成基金」の助成金をいただきました。

パルシステム千葉の助成(30万円)が決定し、5月26日に授与式がありました。この助成金で玄米保冷庫・精米機・シーラーを購入し、運用が始まっています。夏場のお米の管理は大きな課題であっただけに、大変ありがたく利用させていただいています。



さまざまな講座・会議等に参加しました。

6月10日、千葉市ことぶき大学の「地域活動実践講座(全学科共通)」でフードバンクちばの活動を報告させていただきました。分科会でも多くの方が集まり、質問が沢山ありました。後日、受講生がフードバンクちばを見学に来られ、1名の方がボランティア活動に参加してくださっています。

7月18日、千葉県生涯大学校京葉学園の「地域活動専攻科」でフードバンクちばの活動をお話ししました。みなさん熱心にお話を聞いてくださいました。ありがとうございました。

6月30日、千葉県社会福祉協議会主催の「千葉県地域福祉フォーラム(地域福祉ちば県民会議)」に参加しました。困窮者支援がテーマで、県内の主要な福祉団体と並んで、フードバンクちばの活動を紹介させていただきました。